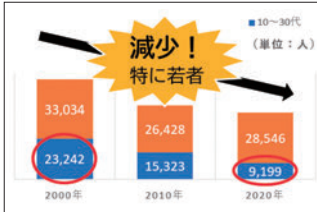


## 技術管理課

### 1 建設産業の活性化

#### (1) 担い手確保の取組

建設産業の担い手が減少していることから、若者を対象としたイベント、出前授業等の実施、女性技術者の活躍に向けた取組など、担い手の確保・育成に関する施策を官民が連携して進めています。また、動画配信により、建設産業の魅力発信を行っています。



県内建設産業就業者数  
(出典: 国勢調査就業状態等基本集計より)



官民が連携したイベントの開催  
～滋賀けんせつみらいフェスタ～



女性技術者が活躍



SNSを活用した動画配信による魅力発信

#### (2) 建設現場の生産性向上推進 ～情報通信技術 (ICT) による効率化～

ドローンによる3次元測量・被災状況の確認、建設機械の自動操作、VRや3次元図面など、ICTを様々な場面で駆使してわかりやすい住民説明や工事の省力化、効率化に取り組んでいます。

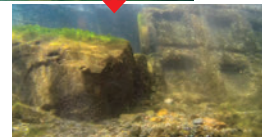


ICTバックホウによる法面整形  
(仕上げ形状データを機械に入れて自動操作)



ドローンで撮影した災害状況写真 (上)  
3次元化した図面 (下)

VRによる  
現地確認



水中ドローンで撮影した被災状況写真

#### (3) 建設業界の働き方改革の推進

働き方改革による職場環境の改善を目指し、毎週土日を休曜日とする完全週休2日の促進、適正な工期設定や施工時期の平準化に取り組んでいます。

### 2 ニーズに応じた公共工事の推進

#### (1) グリーンインフラの推進

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(防災・減災、地域振興、環境保全)を活用し、持続可能で魅力ある県土づくりを進める取組のことです。

カーボンニュートラル、CO<sub>2</sub>ネットゼロ施策推進の一環として、公共事業に積極的にグリーンインフラの視点を導入することで、環境と共生した公共事業を推進しています。



県道小荒路牧野沢線

メタセコイヤ並木 (防風、観光振興、大気浄化)

#### (2) 土木技術の維持と向上

土木技術者を取り巻く環境が大きく変化中、社会資本整備に対するニーズや高度化する技術革新等を的確に捉えて、建設行政を柔軟かつ効果的に推進できる人材の育成に取り組んでいます。また、市町に対しても、各種研修の実施や発注業務に関する支援を行っています。



土木技術職員研修